

記念すべき第60回

日立市美術展覧会が開催されました

受賞者は
右記QRで
確認できます



9月7日から15日にかけて、第60回日立市美術展覧会が日立シビックセンターで開催されました。今年は第60回の開催を記念し、洋画、日本画、彫刻、書道、デザイン、工芸、写真の部に加え、中学生の部を開催。7日の表彰式では、優秀作品表彰として、応募された346作品のうち97作品が表彰されました。主な受賞者は、下記のとおりです。

日立市長賞

石田善子さん（洋画部門）
川崎志保さん（日本画部門）
内山一志さん（書道部門）
室井孝さん（写真部門）
佐川麻穂さん（工芸部門）

日立市議会議長賞

大町義典さん（洋画部門）
上原和代さん（日本画部門）
仙波菜穂さん（書道部門）
山本伊子さん（写真部門）
今川恭子さん（工芸部門）

日立市教育委員会教育長賞

内田實さん（洋画部門）
谷田部敏子さん（日本画部門）
沼田陽子さん（書道部門）
根本豊さん（写真部門）
鶴坂紅葉さん（工芸部門）

日立市文化協会会長賞

斎藤辰夫さん（洋画部門）
小松はぎ子さん（日本画部門）
一ノ瀬利子さん（書道部門）
小林明光さん（写真部門）
高鳥達明さん（彫刻部門）



日立市にゆかりのある2人が快挙

日野瑛太郎さんが「江戸川乱歩賞」を、松永K三蔵さんが「芥川賞」を受賞

江戸川乱歩賞／日野瑛太郎さん



提供 講談社

日立市出身の作家、日野瑛太郎さんの作品「フェイク・マッスル」(講談社)が、第70回江戸川乱歩賞を受賞しました。これまで日野さんは同賞の最終候補に3回選ばれ、4回目の今回、悲願の受賞を達成。11月1日に東京都内で贈呈式が行われます。

芥川賞／松永K三蔵さん



撮影 安田光優

8月23日、第171回芥川賞、直木賞の贈呈式が東京都内で行われ、松永K三蔵さんの小説「バリ山行」(講談社)が芥川賞に選ばれました。松永さんは水戸市で生まれ、幼少期を日立市で過ごしました。茨城県出身者の同賞の受賞は初めて。松永さんの今後の更なる活躍が期待されます。

会場は大盛り上がり！

「ひたち盆 FIRE2024」「秋のさくら祭り」を同時開催



9月7日・8日、日立シビックセンター新都市広場で「ひたち盆 FIRE2024」が開催されました。同イベントは市内の飲食店主などによる実行委員会が企画。盆踊りや桐生八木節などが実施されたほか、日本テレビ系情報番組「シューイチ」の人気コーナー「体格ブラザーズ」のロバート秋山さんとアルコ&ピース平子さんのパフォーマンスも披露され、会場は大いに盛り上がりました。

また、7日には青年会議所が企画した「秋のさくら祭り」も同時開催。桜の花びらが舞うプロジェクションマッピングなど、桜をテーマにしたさまざまなイベントを実施し、会場を秋の桜で染め上げました。



氏子有志が製作

大久保鹿嶋神社の長編映画が完成



9月4日、大久保鹿嶋神社の氏子有志グループ「稲穂会」が市役所を訪れ、同神社と周辺の歴史を描いた記録映画「鹿嶋神社と大久保～歴史と祭りと村の人々」の完成を小川市長に報告しました。映画は同会の根本一弘会長が中心となって製作。根本会長は「映画を通して、大久保の史跡とその歴史を多くの方々に知ってほしい」と話しました。

いつまでもお元気で

小川市長が高齢者宅を訪問



9月5日、敬老の日を前に、小川市長が市内最高齢者となる森田ユキさんなどを訪問しました。今年で107歳を迎えた森田さん。昔から手先が器用で「今でも折り紙を楽しんでいる」と話していました。市内で今年度100歳を迎える方と100歳以上の方は、合わせて180人（8月20日現在）。これからもぜひ、お元気で過ごしてください。

助川小6年生が快挙

陸上コンバインド B 県大会新記録



9月5日、日立陸上クラブの日毛瞭大朗さん（助川小学校6年）が市役所を訪れました。日毛さんは、7月14日に行われた日清食品カップ第40回全国小学生陸上競技交流大会茨城県大会の男子コンバインドB（走幅跳・ジャベリック投げ）で、見事、大会新記録を樹立。県内トップで、9月22日に新国立競技場で行われた全国大会に出場しました。